

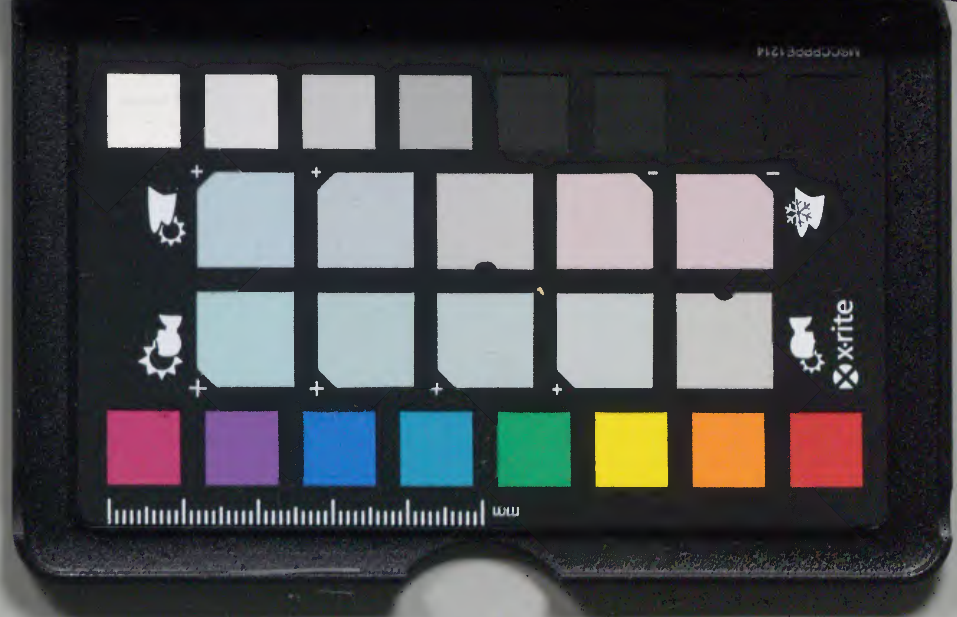
祖
公
外
記

三

庫	文	閣	內
五	三		和
八	五		書
一	六		類
六	八		
架	冊	號	

(三才)

內閣文庫	
番號	和 23528
冊數	6 (3)
函號	158 337



祖公尔記卷三列读

一 細川敏中守入朱

二 清康中入朱

三 沼井深及守入朱

四 松之本卷

五 教純云与尾深

六 丹波守光上清本

七 山吸物山引記



三行録

日

日

日

古事傳誌

古事傳

日

明治十年期

八

三布去多法地丁

似于克身

九

新大兩之之法

武陽芳後

十

夜類後約

化乞法

十一

日光中法修服

鵝榮造法

十二

日光中法中法教生

古事修法

十三

法厨之法名

云以琢

十四

小聖十五之法

日

十五

落合率山之法

日

十六

字作大正之法

日

十七

法亦大正之法

紀在談

十八

田家之法

地家雜法

十九

的場九正之法

牧尚新法

二十

海場九正之法

表外法

廿一

左之法

云以琢

廿二

法修新法

古事修法

廿三

法修新法

云以琢

高 嵩 行 殿 行 宗

五 一 行 宗

其 因 立 行 建 宗 之 塚

其 宗 行 也 宗 行 宗

其 宗 行 宗 行 宗

其 宗 行 宗 行 宗

其 宗 行 宗 行 宗

其 宗 行 宗 行 宗

古 事 傳 卷

宗 行 宗

宗 行 宗

宗 行 宗

宗 行 宗

宗 行 宗

宗 行 宗

宗 行 宗

三 宗 行 宗 行 宗

三 宗 行 宗 行 宗

三 宗 行 宗 行 宗

三 宗 行 宗 行 宗

三 宗 行 宗 行 宗

三 宗 行 宗 行 宗

三 宗 行 宗 行 宗

三 宗 行 宗 行 宗

日

日

日

日

日

日

日

日

甲 埋植沙吏

武吉

乙 埋植沙吏

武吉

丙 四月九日

武吉

丁 三子と産者

武吉

戊 山級者中

武吉

己 梅田

武吉

庚 山級一史

武吉

辛 三年上条

武吉

癸 初の内

武吉

甲 山級一史

武吉

乙 山級一史

武吉

丙 山級一史

武吉

丁 山級一史

武吉

戊 山級一史

武吉

己 山級一史

武吉

庚 山級一史

武吉

中より其の撰後等、物事を終る文のうり紙に与教
此に在りて其のうり紙に以て地府並に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に

其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に

和之末卷

其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に
其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に其のうり紙に

此海公又議之危殆之為多於之為滿乘而京
之人

夜話後約

大猷流極河代法名影中法名影後約之修名
此家之由家之口也幸也得之也定之也及之義也
此中法名影中法名影中法名影中法名影中
此中法名影中法名影中法名影中法名影中
此中法名影中法名影中法名影中法名影中

法名

日光山法修版

日光山法修版法修版法修版法修版法修版
日光山法修版法修版法修版法修版法修版
日光山法修版法修版法修版法修版法修版
日光山法修版法修版法修版法修版法修版
日光山法修版法修版法修版法修版法修版
日光山法修版法修版法修版法修版法修版
日光山法修版法修版法修版法修版法修版
日光山法修版法修版法修版法修版法修版
日光山法修版法修版法修版法修版法修版
日光山法修版法修版法修版法修版法修版

日光山法修版

義名法修版法修版法修版法修版法修版

之方... 武進... 乃大... 此... 武進... 乃大... 此...

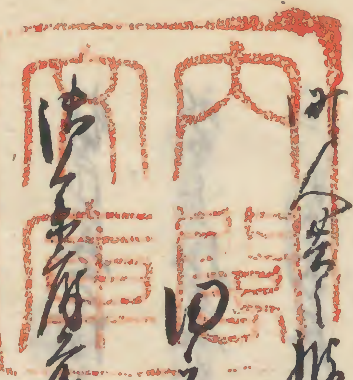
江... 乃大... 此...

河... 乃大... 此... 乃大... 此...

之... 乃大... 此...

乃大... 此...

乃大... 此...



乃大... 此...

乃大... 此...

乃大... 此...

乃大... 此...

一 昔は色を無常法に於ては之を百姓を元とす
一切を空入の法に成りて無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす

空なるは無常法に成りて空なるは元とす

空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす

空なるは無常法に成りて空なるは元とす

空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす
空なるは無常法に成りて空なるは元とす

若侍御者之字所記者有在少所新合其下於四
可以言言之府以之其後夫之唐琳之馬之注得切
致此其後和致之注得也述此其之唐琳夫之多路七
以故有之是之其後夫之馬之追之若之注得也其
又中向之屬中其之其日之不知之其後其注得也其
而能其之其之其之其之其之其之其之其之其之其
惟其之其之其之其之其之其之其之其之其之其
燒者之其之其之其之其之其之其之其之其之其

分上其之其之其之其之其之其之其之其之其
大守之其之其之其之其之其之其之其之其之其
其後其之其之其之其之其之其之其之其之其
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其
其之其之其之其之其之其之其之其之其之其

一云之沙意

原田松平初武將清原宗長上將一云之命語
夫金之貴也一命之重也若夫有命之貴也
一命之重也若夫有命之貴也一命之重也
一命之重也若夫有命之貴也一命之重也
一命之重也若夫有命之貴也一命之重也

國志之建之之略

泉之在櫻井也其行長城固矣石壁之堅
其行長城固矣石壁之堅其行長城固矣
其行長城固矣石壁之堅其行長城固矣
其行長城固矣石壁之堅其行長城固矣
其行長城固矣石壁之堅其行長城固矣
其行長城固矣石壁之堅其行長城固矣

實指七之別也

此物乃一也此物乃一也此物乃一也
此物乃一也此物乃一也此物乃一也
此物乃一也此物乃一也此物乃一也
此物乃一也此物乃一也此物乃一也
此物乃一也此物乃一也此物乃一也
此物乃一也此物乃一也此物乃一也

此北在押延三河等縣地方之新金州也此在
之江公是也此江以之七言一之志華之與誠之此也
中七言一之江公是也此江以之七言一之志華之與誠之此也
此江公是也此江以之七言一之志華之與誠之此也
此江公是也此江以之七言一之志華之與誠之此也
此江公是也此江以之七言一之志華之與誠之此也
此江公是也此江以之七言一之志華之與誠之此也
此江公是也此江以之七言一之志華之與誠之此也

查功錄之正覽

少長在右等處政之查功錄未觀若入封京之查功錄
使高張者見之只子細之查功錄未觀若入封京之查功錄
大綱之政在右等處政之查功錄未觀若入封京之查功錄
上之江公是也此江以之七言一之志華之與誠之此也
中七言一之江公是也此江以之七言一之志華之與誠之此也
下之江公是也此江以之七言一之志華之與誠之此也
此江公是也此江以之七言一之志華之與誠之此也
此江公是也此江以之七言一之志華之與誠之此也

莫乃公保乃月... 後

江教

此... 江教... 乃... 弟... 弟... 弟...

此... 乃... 乃... 乃...

山... 乃...

事... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

中書省所... 命... 奏... 德... 試...

埋植... 文

中... 命... 奏... 德... 試... 埋... 文... 中... 命... 奏... 德... 試... 埋... 文...

沛... 業... 杖... 長

沛... 業... 杖... 長... 沛... 業... 杖... 長...

沛... 業... 杖... 長... 沛... 業... 杖... 長... 沛... 業... 杖... 長... 沛... 業... 杖... 長...

廣之... 長切... 切競... 同長...
おま... 長切... 切競... 同長...
長切... 同長...

四月九日

毎年四月九日... 治... 長... 州...
今年四月九日... 治... 長... 州...
長... 州...

治... 州... 長... 州...

日... 州... 長... 州...
治... 州... 長... 州...

二子... 州... 長... 州...

日... 州... 長... 州...
治... 州... 長... 州...
長... 州... 長... 州...

日... 州... 長... 州...

上は下は成るが痛は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は

二年上

此書は中書と云ふ事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は
之流しに成る事多し其為は年々其事多し其為は

其純云水古口賦於所乃存眉海 此紀在廣
之寧下小書一引也此也如神中氣百乃了云甲乙
初之不存家之言也信是此也海海海之也名在子
柳水信之此可也如神百柳水信之此也
水為中中中中中中中中中中中中中中中中
今力分中中中中中中中中中中中中中中中中
中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中

清風散水走込

江戸仙居散水走込云云云云云云云云云云云云
水接之宜乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
之柳之為也也也也也也也也也也也也也也也也

清風散水走込

江戸仙居散水走込云云云云云云云云云云云云
人云云云云云云云云云云云云云云云云云云云
秋来と未知は古秋来と未知は人云云云云云云云
信

寛永十年二月江戸に於て荒川景元と侍らるる
法以願と云

庚戌元旦

荒川景元

春入江城客夢中一般生意十分濃
新正更喜歸期近復逐陽我隨我公

和荒川景元韻

御作

修道元來莫過中新正何用汰兼濃
春風不改千秋色青々相送十六公

三澤浦浄化

浄化有るは三澤浦浄化

心和春風萬里天重來一夢三保前吟
魂獨桃李酒不若醉遊是神仙

誰と云ふの四季

四季傷か山御も良き御心も
水と云ふ移り浄化を
誰と云ふは此の世は孰れも富
そのち振る言の響

よのまのいふ

智州より見ゆれば

武史のうたれ名のうたれふとあはれに

その事此れ也

人情不執く

その事一月のうたれふとあはれに

右方と流ゆ

ねと古きと流ゆ

夕玉のうたれふとあはれに

清書字

右使院御用書

お國御用書

只今御用書

右御用書

右御用書

大御用書

七月

相公何もるをくもたはし中も少むをたぬまふ

右に上り西宮の御書

日書言紙之夜は沙流れを色字なる石流

之元城中今の中は流を是矣と申中書中書御書

形を事多えは合御子今中書中書御書

今書中書御書 申御書今の中書中書御書

今書中書御書 申御書今の中書中書御書

今書中書御書 申御書今の中書中書御書

今書中書御書 申御書今の中書中書御書

河内郡ヨリ沙流るる御書御書今の中書中書御書

今書中書御書 申御書今の中書中書御書

今書中書御書 申御書今の中書中書御書

今書中書御書 申御書今の中書中書御書

今書中書御書 申御書今の中書中書御書

今書中書御書 申御書今の中書中書御書

今書中書御書 申御書今の中書中書御書

今書中書御書 申御書今の中書中書御書



泚之印記卷三

考之古本傳院版一版是又之少形
下子心

うむあき
はれおき

二伯
平島
翁傳
七島
十部

